

## 令和元年度 補助金等年次報告書

(単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者の氏名及び住所	交付額	評価結果	立入調査その他監督の内容及び結果	担当課名等
1	伊賀鉄道運営費等補助金	伊賀鉄道株式会社 伊賀市上野丸之内61-2	83,316	1年間を通して、伊賀線の安全安心で安定的な運行を実施できた。第3四半期までは、インバウンド需要もあり、例年と比較して経営状況は好調であった。しかし、世界的に広がった新型コロナウイルス感染症の影響により、第4四半期の収益は大幅に落ち、営業損失は前年よりも拡大し、2ヵ年連続して計画の収支目標は達成できなかった。	四半期ごとに会議を開催し、伊賀鉄道(株)の決算見込みや、経営改善のための取り組み状況等を確認したところ、適切に事業が実施されていた。	交通政策課
2	上野天神祭のダンジリ行事継承事業交付金	上野文化美術保存会 伊賀市上野三之西町3205-1	6,700	ユネスコ無形文化遺産に登録された上野天神祭のダンジリ行事を開催した。宵々山、足揃えの儀、宵山巡行は天候不良により各町内のみ等での実施となったが、本祭は好天の下実施した。 ホームページで祭礼内容を紹介するなどの情報発信を行い、さらにお囃子演奏会の実施などで郷土文化の振興を図った。	事業実施後に実績報告書の提出を求め、内容が適切かどうか確認したところ、適切に事業が実施されていた。	文化交流課
3	伊賀市社会福祉協議会職員設置等事業補助金	社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会 伊賀市平野山之下380-5	82,371	社会福祉関係団体や地域関係者等と連携し、様々な活動を実践し、地域福祉推進に努めた。	補助金の支出にあたり、実績報告書を確認したところ、適切に事業が実施されていた。 さらに、補助金監査を行い、現地にて、30年度の実績報告書に基づき、実際の支出書類伝票等を確認したところ、適正に執行されていた。(令和元年8月7日実施)	医療福祉政策課

## 令和元年度 補助金等年次報告書

(単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者の氏名及び住所	交付額	評価結果	立入調査その他監督の内容及び結果	担当課名等
4	障がい児保育対策事業費補助金	社会福祉法人伊賀市社会事業協会  伊賀市朝屋739-2	6,312	心身に障がいのある児童等に療育保育を実施するにあたり必要となる保育士の加配に対し補助金を交付することにより、25人に対し専門的な療育保育を実施することができた。児童の発達特性に応じた成長の促進や障がいの軽減が図られ、補助金額に比する効果が大きい。	対象児童の保育観察及び審査会を2回実施し、療育保育の必要性を認定した。書類内容については、必要に応じ事業者に聞き取りを行った。	保育幼稚園課
5	シルバー人材センター高年齢者就業機会確保事業費補助金	公益社団法人伊賀市シルバー人材センター  伊賀市西明寺2782-92	14,738	補助金の交付により、センターの円滑な運営及び事業実施を行うことができた。その結果、令和元年度シルバーの受託事業と派遣事業の総契約額は477,700千円で、対前年度比100.1%の実績となったが、高年齢者の就業機会の確保や地域社会への貢献といった面からも、補助金額に見合う効果が十分にあった。	実績報告書の内容を精査したところ適切に事業が実施されていた。	商工労働課
6	優良素牛導入助成金	いがほくぶ和牛肥育部会  伊賀市平野西町1-1	7,500	伊賀牛の飼養頭数の増頭を進める取り組みを行う中で、銘柄牛(伊賀牛)の優良素牛導入に対しての助成は、補助金額に見合う効果があった。	立入調査に代わり、補助事業者から書類を提出させ、適正に事業が行われているか確認したところ、適正に事業が実施されていた。	農林振興課

## 令和元年度 補助金等年次報告書

(単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者の氏名及び住所	交付額	評価結果	立入調査その他監督の内容及び結果	担当課名等
7	商工会事業費補助金	伊賀市商工会 伊賀市下柘植723-1	26,500	補助金の交付により、円滑に事業が実施された。商工業者の経営支援や地域活性化のための様々な事業が実施され、創業支援事業では令和元年度に創業者4名を輩出することができるなど、商工業の育成・振興の面で、補助金額に見合う効果があった。	実績報告書の内容を精査したところ適切に事業が実施されていた。	商工労働課
8	施設管理運営補助金	公益財団法人伊賀市文化都市協会 伊賀市西明寺3240-2	16,734	補助金の交付により、地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」の円滑な運営管理を行うことができた。その結果、産学官連携による環境・薬品・文化等に関する共同の研究開発、起業の支援及び地域文化力の向上に資する事業に取り組むことができ、地域産業振興の面からも効果があった。 また、年度内に2回、地域の子どもを対象とした研究イベントを実施予定であったが、うち1回は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。	相互に連絡調整及び報告を行っているほか、適宜訪問し概況について監督した。 また、現地確認をしたところ、実績報告書の内容に基づき適正に事業が実施されていた。	商工労働課